

第6回桜美林大学孔子学院

漢詩朗読・創作発表大会

日時： 2019年1月26日（土） 13:00～17:00

会場： 桜美林大学淵野辺キャンパス2階 202教室

■漢詩講演会 13:00～14:00

講演者 佐藤 保（さとう たもつ）氏

（お茶の水女子大学名誉教授 二松學舎大学名誉教授 学校法人二松學舎顧問

NHKラジオ「漢詩をよむ」講師 元お茶の水女子大学学長 元学校法人二松學舎理事長）

テーマ 「マリア・ルス号事件と漢詩」

■朗読・創作発表大会 14:15～17:00

◆朗読の部（中国語で朗読。創作でないものに限る。） ※バックミュージック使用可（CD各自用意）

例）五言絶句3首、七言絶句2首、七言律詩1首など（それより長い詩を含む。例：宋词等）

参加資格：国籍問わず、中国語を母語としない者

◆創作の部（事前に創作した詩を当日朗読。） ※新韻の使用が望ましい。

例）五言絶句、七言絶句、七言律詩、宋词からいずれか1首を創作し、発表。

参加資格：国籍問わず

・申込：申込期間（2018年11月1日（木）～2019年1月23日（水）） ※当日必着

①メール：参加申込書に記載の項目内容をメールの文面に記載し、最下部記載の宛先までお送り下さい。

※メールの返信をもって申込受付完了とさせていただきます。

②郵送：申込用紙を最下部記載の申込先まで郵送してください。

・表彰：最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞など

・審査委員長：佐藤 保

※終了後、懇親会あり。（希望者のみ・会費3000円）

※内容および時間等は当日の状況により変更となる場合がございます。



■佐藤 保氏からのメッセージ

詩は言葉の芸術です。詩人は自分の感じた情感やイメージを的確に表現する言葉を懸命に探し求めます。一方、読者は、言葉を通じて詩人の情感やイメージの再生を試みます。詩を読むということは、つまりは詩の言葉の吟味にほかなりません。一昨年に引き続き、漢字・漢語の特性と詩的表現の関係を検討したいと思います。

主催：桜美林大学孔子学院

申込・お問い合わせ先：桜美林大学孔子学院事務局 第6回漢詩朗読・創作発表大会担当者

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1

TEL: 042-704-7020 FAX: 042-704-7024 MAIL: kongzi@obirin.ac.jp

第6回漢詩朗読・創作発表大会 参加申込書

ふりがな	
名前	
住所	〒
電話 / 携帯番号	※平日昼間に連絡のつきやすい番号を記入してください
メールアドレス	
生年月日	西暦 年 月 日 (満 歳)
所属	

参加希望 朗読の部 創作の部 (同時申込可)

◆朗読の部 作者・作品名	
◆創作の部 作品名	

バックミュージックの有無 有 無

懇親会の参加予定 参加 不参加

※創作の部の参加者は2019年1月18日(金)までに原稿を提出してください。

※バックミュージックを使用される方は事前にご自身で音源をご準備ください。

※懇親会に参加される方は当日、会費3000円を徴収させていただきます。

申込・お問い合わせ先：桜美林大学孔子学院事務局 第6回漢詩朗読・創作発表大会担当者

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺4-16-1

TEL: 042-704-7020 FAX: 042-704-7024 MAIL: kongzi@obirin.ac.jp